



▶パック詰め競争。上手に完成させ、笑顔を見せる参加者。

甘い香りの広がるお祭り

安来産のイチゴを広く知ってもらい、また、生産者との交流の場をつくらうと「やすぎのいちご祭り2019」を3月2日・3日に開催しました。会場となった道の駅あらエッサでは、数種類の安来産イチゴやイチゴを使ったスイーツなどの販売があり、多くの家族連れなどで賑わいました。

3日には、3品種のイチゴ（紅ほっぺ、章姫、かおり野）を食べ比べできる試食やパック詰め競争などのイベントを開催。来場者は、生産者から説明を受けながら品種ごとの甘さや酸味の違いを味わったり、パック詰め難しさを体感したりして楽しんでいました。



まちの話題や出来事を紹介します



飯梨交流センターでクリスマスローズ展を開催。愛好家から集められた黄・紫・白色など88鉢の花が来場者を迎え、ひと足早い花見を楽しんでいました。(3月10日)

今月の一枚



▶活動報告をする布部交流センターの皆さん。



各地の取り組みを発表

交流センターが中心となっていく地域の課題解決に向けた活動を応援する「がんばる地域おこし支援事業」。今年度、この事業を行った6つの交流センターがその取り組みを発表する「がんばる地域おこし支援事業実践発表研修会」を2月24日に広瀬中央交流センターで行いました。

各交流センターは、地区の特色を生かしたこれからの地域のあり方について考え、実践したことを報告。まちづくり勉強会の開催や女性によるワーキングチームの結成、住民交流の場づくりなど、各地で

記事の画像をフェイスブックで紹介



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック (FB)」で公開しています。

右のQRコードは「安来市公式FB」のトップページを表示することができます。



取り組んだ事例が発表されました。

見学者からは、「各交流センターが熱意を持って精一杯地域力アップに励んでおられ、素晴らしいと思った」との声が上がっていました。

※今年度、同事業を行った交流センター：荒島・東比田・布部・広瀬・宇波・赤屋



◀各校生徒会が気持ちを一つにして取り組みます。

学校の課題に立ち向かう

市内中学校の生徒会役員が集まり会議をする「安来市中学校生徒会サミット」が2月14日に広瀬中学校で行われました。生徒の交流と5つの中学校の一体感の創出を目的に開催されるこのサミット。今回の内容は「いじめ撲滅宣言」の作成です。

生徒たちは、事前に自校で考えてきた必要項目などを報告。その後、各校の生徒が入り交じって4つのグループになり、報告内容をもとに宣言案を検討していきました。今後は、この日に話し合った内容をもとに宣言案をまとめることになっています。

事前に知って旅を楽しむ

もっと旅を楽しむための情報を旅行前に学ぶ阪急交通社「たびコト塾」。同社大阪支店を会場に2月24日、安来市観光協会が「安来節どじょうすくい踊り体験」を行い、2回の塾に50人が参加しました。

塾ではまず、安来市の観光スポットや特産品をはじめ、安来節はNHK朝ドラ「わろてんか」でおなじみの吉本興業とゆかりがあることなどを紹介。その後、実際に衣装を着て踊りを体験しました。同協会は「今回の体験に興味を持ってもらい、本場の踊りを見に来てほしい」と話していました。



◀安来節保存会関西支部の皆さんから指導を受ける参加者。

安田地区の未来のために

安田小学校の6年生がこれからの安田に必要なことなどを発表する「安田の未来を考える会」が2月20日に安田小学校で行われました。

児童は、祭りを生かしたまちづくりや高齢者に優しいまちづくりなど、4つのテーマごとのグループに分かれて、調べたり考えたりしたことを発表。自然を生かしたイベントの開催や農業体験の実施といった提案をしました。発表を見に来た地元の人は「小学生が安田のことを真剣に考えてくれてうれしく思う」と感想を話していました。



▲安田で行うべきことを提案する児童。



▲吹き抜けの空間に心地よいメロディーが流れます。

図書館でコンサート

静かに利用する場がコンサート会場に一。市立図書館で3月3日、「スプリングコンサート」を開催しました。同館が毎年、企画しているもので、閉館前の17時から開始。フルート、バイオリン、ピアノ、ハープが奏でる10曲を来場した約100人の皆さんは楽しんでいました。

奏者の加藤千乃さんは演奏曲を紹介しながら「曲にまつわる本が図書館にもありますよ」と、物語と音楽にゆかりがあることをわかりやすく説明。山野辺強館長は「図書館に興味を持ってもらい、楽しい場と思ってもらえれば」と話していました。